

看護職員確保対策事業

1.事業の目的

保健師、助産師、看護師及び准看護師で、未就業の者に対し就業促進に必要な事業、看護業務等のPR事業を行い、医療機関等の看護職員の確保に寄与する。また、看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づく離職者の届出制度に対応し、スムーズな復職につなげる支援を行う。

2.事業内容

1)看護の心普及等・ナースセンター強化事業

(1)ナースセンター事業

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、高知県の委託を受け高知県ナースセンターの運営を行う。

ア. 看護職員就業促進事業

①就業を容易にするための看護技能知識についての相談、就業に関する指導を行う

②公共職業安定所との連携を図り、ナースセンターコンピューターシステム(NCCS)を利用して求人状況に関する情報の提供、就業の斡旋を行う。

《実施曜日等》

区分	実施曜日	1日の実施時間	年間実施日数
①看護技能知識についての相談、 就業に関する指導 ②無料職業紹介事業	月～金	9時～17時	246日

《eナースセンター登録者数及び就業率》

区分	eナース登録 未就業者数(A)	eナース新規 登録者数(B)	就業者数 (C)	就業率 {C÷(A+B)}×100
保健師	36人	12人	5人	10.4%
助産師	1人	0人	0人	0.0%
看護師(准)	看484人 准5人	168人	75人	11.4%
計	526人	180人	80人	11.3%

※2024年3月31日時点(2023年度末)

《eナースセンター求人登録施設数及び医療機関数等》

	病院(A)	診療所(B)	計(A)+(B)
2024年4月1日の総数	120	525 (うち有63床)	645
eナースセンター求人登録施設数 (2023年度末時点の登録数)	53	6 (うち有3床)	59

《2023年度 相談等件数》

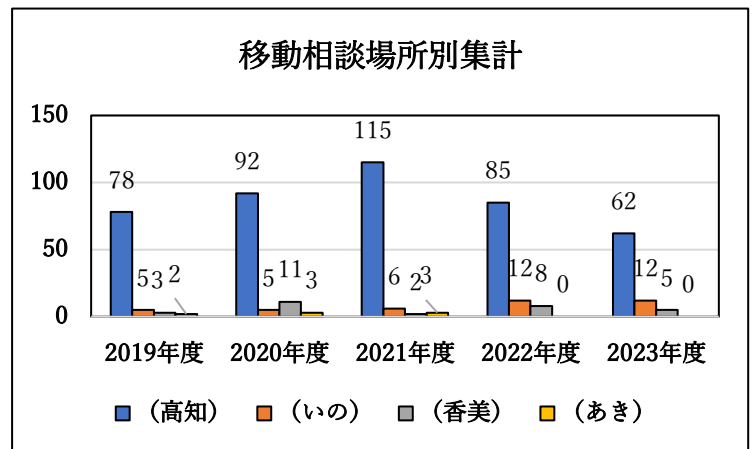
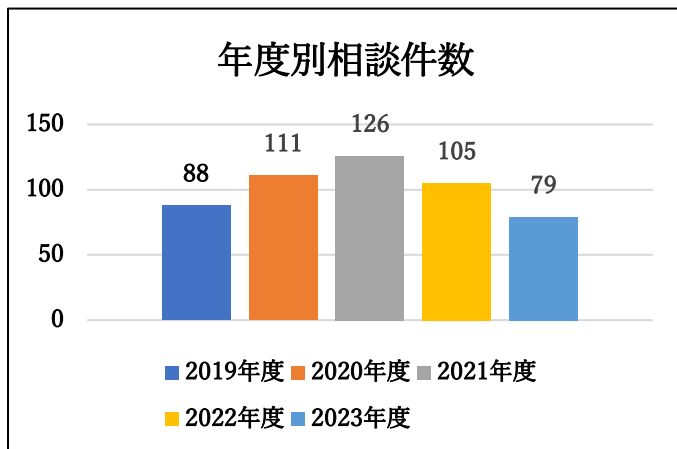
業務		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
求職	未所	1	8	8	7	3	4	5	4	5	8	4	1	58
	TEL	15	29	37	40	37	37	11	19	12	55	46	20	358
	メール	2	2	0	5	1	3	6	6	1	0	15	0	41
	郵送	2	0	12	1	2	1	0	0	0	0	1	0	19
	FAX	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	その他	5	11	1	23	2	6	6	9	10	10	6	2	7
求人	未所	0	0	23	2	0	0	2	1	1	8	0	1	38
	TEL	32	33	14	29	57	46	42	12	12	9	27	42	355
	メール	4	5	0	11	5	5	5	2	2	8	1	1	49
	郵送	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	0	15
進路	未所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	TEL	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	郵送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	10	0	17
合計	61	89	101	120	116	108	86	53	43	43	95	109	72	1053

《公共職業安定所(ハローワーク) 出向相談実績》

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたが、相談件数は昨年度より減少している。e ナースセンター新規登録者やハローワークに来所された人などに対して、広報活動は継続して実施し、研修参加などを促していく。

ハローワークとの連携では、就業相談者の共有や人材確保対策推進協議会への参加、医療関係面接就職相談会へ参加を行い、協力体制の継続を図った。

年2回開催される、ふくし就職フェア(主に介護職)のイベントにも出向き、年間平均5名程度と少なめではあるが、看護職の相談がある。イベント開催後からナースセンターを利用する求職者もいるため、継続して働きかけていく。



イ.「看護の心」普及事業

- ①高校生及び学校の進路指導担当者等を対象に、看護職等についての知識や理解を深める機会とし、将来の看護職の人材確保のための広報活動、進路相談事業を行う。

- ②「看護の心」の普及啓発を通じて、県民一人ひとりの看護についての関心を高め、理解を深めるとともに、看護の明るいイメージづくりを図るための事業を行う。

《こうち看護フェア》

5月13日(土)、こうち看護フェアをオンラインで開催し、先輩看護職の語り、看護系学校教員による学校紹介、県の奨学金について説明があった。看護職をめざす高校1～3年生78名(1年生3名、2年生8名、3年生61名、学年不明6名)が参加した。

先輩看護職の語りでは、保健師、助産師、看護師、訪問看護師から、自らの体験、業務内容、患者との関わり、魅力などについて語りがあった。アンケートでは、「進路の参考になり、改めて看護師になりたいと思った」「これからの未来の自分と重ね合わせて考えることができた」「保健師、助産師にも興味がわいた」「現場で働いている看護師さんのアドバイスも聞けて良かった」との感想が聞けた。

また、看護系学校紹介には、県内の大学、短期大学、専門学校7校が参加し、それぞれの学校の特徴やオープンキャンパスの紹介などについて説明があった。参加した学生からは、「看護学生の声が聞けて、イメージしやすかったです」「高知県には多くの看護学校があって参考になった」「進学先を超えた就職のことまで現実的に考えられる機会になりました」という感想が多く聞かれた一方で、「スライドが早くメモができなかった。もう少し学校の紹介を聞きたかった」などの意見もあった。次回開催の参考に反映したいと思う。

《ふれあい看護体験》

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始め、2019年より開催を見合わせていた。しかし、新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類になったため、開催するにあたり意向調査を行なった。各施設新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っている状況ではあったが、協力病院が35施設(受入可能人数232人)あり、4年ぶりに開催の運びとなった。高校生参加希望人数は444名と多くの応募があったが、受入れ枠はほぼ半数のため、225名が体験予定となった。7月28日から8月18日の夏休み期間、実際実施できた病院が29施設、高校生は179名と減少した。理由は、施設側(職員・患者)でコロナ感染者が増えたことや、台風の影響で協力施設が減り、参加できなかった高校生がいたこと。また、高校生側の怪我や体調不良者もいたためである(7施設24名が参加不可)。

高校生からは、「看護師さんがどんな雰囲気の仕事しているか、わかった」「患者さんとお話する機会があり、楽しかった」「見学した科が興味のある科じゃなかったけど、他の科にも興味を持つことが出来て、視野が広がったのでいい経験ができた」「調べるだけじゃわからないこともあるので実際に見て色んな体験をさせてもらってすごく看護師になりたいと思えたので良かった」「臨床の場だからこそ気づくことができる、感じるがあった。例えば患者さんとのコミュニケーションひとつにしても、ただ会話をするだけでなく、看護師の患者に対する態度、観察視点、気遣い全てが信頼関係などへと結びつくのだなと思った」という感想が聞かれた。

久しぶりの開催であったため、高校2、3年生を中心に協力施設へ振り分けたが、来年度は進路を考える時期にある1、2年生を中心に体験ができるようにしたいと考えている。

《とさっ子タウン》

子どもたちが市民となり運営する「こどものまち」とさっ子タウンが、8月に開催された。高知市民活動サポートセンター、認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議、公益社団法人高知市文化振興事業団等が主催し、高知市文化プラザかるぼーとで、およそ 50 種類ほどの職種を 217 名の子どもたちが、お仕事体験をした。高知県ナースセンターもナースセンター委員と協力し、健診ブースを作成。子どもたちに看護体験を提供した。子どもたちからは「楽しかった。」「兄弟がいるから赤ちゃん抱っこしたことあるよ。」等元気な声が聞かれた。

(2)ナースセンター強化事業

①離職者の把握と早期復職の支援を行う。

- ・医療機関を訪問し届出制度によるナースセンターへの登録普及活動
- ・医療機関等の離職者等の状況を把握(とどけるん)
- ・就業相談

②潜在看護職員復職研修事業を実施する。

《とどけるん登録状況》

	累積数	前年比
2020 年度	84	22
2021 年度	135	51
2022 年度	58	-77
2023 年度	28	-30

《施設訪問》

病院	施設・訪問 ST	市町村	学校	合計
14	3	1	1	19

2023 年度は高知県訪問看護総合支援センターができ、現在訪問看護師で働いている方、これから訪問看護師を目指そうとしている方々の支援に力を入れる取り組みが始まり、ナースセンターも高知県内の訪問看護ステーションも施設訪問に加えた形で実施した。

《再就職相談会》

再就職を考えている看護職と看護職を確保したい施設の求人担当者を対象に 2 回開催した。

	7/2(日)	1/28(日)
求人施設数	19	14
求職者数	12	15
就職者数	2	3

第 1 回は、病院 13 施設、障害者支援施設 1 施設、デイサービス1施設、訪問看護ステーション3施設、看護学校1施設であった。参加年齢は 60 歳以上が4名、50 歳代が5名、40 歳代が2名、30 歳代が1名。うち 60 歳代が 1 名、50 歳代が1名病院に常勤で就職した。

第 2 回目は、病院 12 施設、訪問看護ステーション1施設、看護学校1施設。参加年齢は 60 歳以上が4名、50 歳代が6名、40 歳代が3名、30 歳代が2名であった。うち 60 歳代が1名、40 歳代が1名、30 歳代が1名病院に就職した。常勤1名、非常勤2名であった。

《潜在看護職員等復職支援研修》

この研修は、復職のための心構え、最新の看護現場の状況、看護実践に必要な基本的な知識と技術等を確認することにより復職支援につなげることを目的に、年3回開催している。今年度は、計 22 名の参加者があり、4名が就職した。

研修プログラムは次頁の内容で、講師は専門分野で活躍している現場の看護師の方々である。

2022 年度			2023 年度		
開催月	参加	就職	開催月	参加	就職
6月	6	3	6月	9	3
9月	8	2	9月	9	0
2月	2	0	12月	4	1

【 2023 年度 中央地区研修プログラム 2 日間 】

	テーマ	講師
60 分	医療・介護福祉を取り巻く社会の変化	高知県看護協会会長 藤原 房子
120 分	創傷管理の基本	《皮膚・排泄ケア認定看護師》特定行為研修修了看護師 社会医療法人近森会 近森病院 安松 和美
120 分	救急対応	《クリティカルケア認定看護師》特定行為研修修了看護師 社会医療法人近森会 近森病院 酒井 由夏
120 分	感染管理の基礎	《感染管理認定看護師》 社会医療法人仁生会 細木病院 土居 世知 地域医療機能推進機構 高知西病院 笠原 久美
120 分	医療安全の基礎知識	《医療安全管理者》 日本赤十字社高知赤十字病院 看護副部長 伊勢田 純子
60 分	採血・筋肉注射・点滴の模擬実施	看護師 杉本美和子

実務研修

協力施設	実務人数	就職者数	雇用形態
もみのき病院	2名	2名	常勤1名・非常勤1名
あき総合病院	1名	0名	—
三愛病院	1名	1名(実務研修以外の病院)	非常勤
こうち看護協会 訪問看護ステーション	1名	0名	—

新型コロナウイルスが5類に移行されてから実務研修を再開した。講義のみ参加した求職者が1名就職したのに比べ、実務研修に参加した求職者は3名であった。実際、協力病院で研修に参加し、患者さんや同職業の方と触れ合うことで自信に繋がり不安が軽減したという感想が聞かれたため、来年度も少しでも多くの潜在看護師が現場復帰できるように協力施設と密に連携しながら、継続して取り組んでいく必要があると感じた。

《プラチナナースセミナー》

病院や施設において、様々な看護の経験を積み、熟練した看護技術と対人スキルをもつプラチナナース(定年退職前後の看護職等)の方々が、退職後のライフプランや生活の保障について考える機会を目的に7月と11月に開催した。参加者は就業中で定年退職に近い年代が主であった。年金や資産運用の内容の他にスキルを実際どのように活用していくとよいかを聞きたいという声も聞かれたため、来年度はグループワークやディスカッションなど、就業中の方々との交流をメインにし、退職後の働き方のヒントになるような講義ができるように考慮していく。また、潜在看護職はパソコンやスマートフォンに慣れてない方が多く、kangonotoでの申込が難しいという意見が聞かれ参加がなかった。申込方法を電話やメールに変更し、どのかたでも参加が出来るように工夫する予定である。

2023 年度	7/25(火)	11/28(火)
参加者数	5	5
参加者のうち Zoom 参加	1	2
就職者数	就業中の方が参加	就業中の方が参加